

工作機械会社を女性が変えた！

女性活用で変わる 日本のものづくり



西岡 慶子氏 (株)光機械製作所 代表取締役社長

三重県津市出身。大学卒業後、在日米国企業で通訳とし勤務。

合併や提携などの商談通訳や、会議の同時通訳に携わった後、1997年光機械製作所に入社。副社長を経て、2001年5月に代表取締役社長に就任。

テーマ：「違いが価値に～女性活用を進めた理由～」

工作機械と切削工具を製造する光機械製作所では、1990年代後半（西岡入社時点）、全社員の9割近くが男性・理系の社員であった。当時は21世紀を目前に、グローバル化やIT化が進み、企業の評価基準は欧米化され、ものづくり企業にはイノベーションの創造が迫られていた。しかし、イノベーションには、異なるアイデアや感性の融合が必須であり、同社のような同質文化のなかでそれを実現するのは多難であった。

2000年以降同社の輸出は増大した。加えて、日本の工場には女性や外国人、高齢者が増え、ユーザーの多様化が進んだ。そこで、同社は「3G」の人材方針を掲げ、ダイバーシティ経営を推し進めた。現在では、技術分野で理系の女性が活躍する他、管理分野でも手腕を発揮している。女性比率は30%弱、女性管理者比率は25%となり、多様な人材が会社を元気にしている。

講演では、「なぜものづくり企業に女性活用が必要か」、「どのように女性活用を進めたか」、についてお話いただきます。



2015年6月2日(火) 13:00-14:20

京都工芸繊維大学 60周年記念館 1F 記念ホール

定員 150人(事前申し込みが必要)

お申し込み方法

- 入力フォームでのお申込み
創造連携センターホームページ

QR code ▶



<http://www.liaison.kit.ac.jp/liaison/news/2015/post-25.html>
または

●FAX:075-724-7930

①氏名②企業名③役職④電話番号⑤FAX⑥E-mail アドレスをご記入の上
「事業協力会講演会係」までお申込みください。

お問い合わせ先

京都工芸繊維大学 創造連携センター 事業協力会講演会係
TEL:075-724-7933 / E-mail:corc@kit.ac.jp



●市営地下鉄丸太線「国際会館」行き「松ヶ崎」駅下車、
徒歩約8分（「松ヶ崎」駅の「出口1」から右（東）
へ約400m、四つ目の信号を右（南）へ約180m）